

| | | | | |
|-----------|---|-----------------------|-------|----|
| 法人(事業所)理念 | 組合構成市町で暮らし、発達支援や子育て支援、障がい福祉サービスを必要としている人たちに対し、ライフステージを通して豊かな育ちを支え、健康で安心ある施設支援や、充実した地域生活支援に努め、地域の児童福祉、障がい児・者福祉の発展を目指します。 | | | |
| 支援方針 | 子どもの特性に配慮し、一人ひとりの子どもに寄り添いながら、安定した日常生活とその子の持てる能力に応じた生活習慣の自立を目指します。また、安定した家庭生活や社会生活への適応性を高められるよう支援します。 | | | |
| 営業時間 | 平日 | 掛川特別支援学校下校時間～17時30分まで | 送迎の有無 | あり |
| | 長期休暇 | 9時～16時まで | | |
| | 行事 | 掛川特別支援学校下校時間～17時30分まで | | |

支援内容

| | | |
|------|-----------------|--|
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・鞆の置き場所や活動内容や流れが分かりやすいようボードに掲示、提示を行い、構造化を意識 ・一人ひとりの排泄への声かけや誘導(必要に応じて場面の切り替え時、定時での誘導)、 ・感覚過敏を意識し、体調に合わせておやつ提供や補食を家庭に依頼 |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムを意識し、姿勢保持や動作を取り入れた身体を動かす活動(散歩、体育館、グラウンドや体育館(トランポリンや揺れ遊具)、公園)の実施 ・障がい性に配慮し、スヌーズレンや個別に音楽を取り入れ、休息やリラクスを意識した活動の実施 ・聴覚過敏等に配慮し、イヤーマフの準備やリラクスルームを作り構造化する。 ・五感(く見る)、聴覚(く聴く)、味覚(く味わう)、嗅覚(く嗅ぐ)、触覚(く皮膚で感じる)にアプローチするおやつ作り |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードに曜日や日にち(個別に時間)を掲示し、時間や日付け把握や確認による認知形成 ・遊びや活動時に興味・関心が広がるような声掛けや動線の確保 ・活動を通して子どもへの声かけを通して、快・不快や嬉しい・楽しいといった肯定的な体験の意味付け |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・大人が気持ちの代弁や適切な言葉を添える事での言葉の広がりや、受容の体感を通じたコミュニケーション関係の構築 ・個別に司会や号令の役割に取り組む中での言語表出の機会の設定 |
| | 人間関係・社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりに向き合い、アタッチメント(愛着)形成の意識と、自己選択、自己決定の構築、自己肯定感の育成 ・遊びを通じた、友達や大人への意識、共感が得られるような関わりや声掛け |

| | | | |
|-----------|--|---------|--|
| 家族支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○アタッチメント(愛着)の安定 ○家族(きょうだいを含む)からの相談に対する適切な助言 ○保護者同士が繋がる機会の提供 | 移行支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○就学前から学齢期、学齢期から成人期への移行支援における、子どもや保護者が安心につながるための情報共有や準備の取り組み。 |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> ○児童発達支援センター、学校、医療機関等関係機関との情報共有や調整、支援方法や環境調整に関する相談援助等の取り組み ○高校卒業後のアフターフォロー | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ○年2回(夏季・冬期)の東遠学園全体研修 ○外部施設見学(実習) ○実践報告の作成 |
| 主な活動や行事等 | <ul style="list-style-type: none"> ○散歩・外出(地域の公園、施設)、おやつ作り、グラウンドや体育館での身体を使った遊び、工作等 ○季節に応じた行事(夏の水遊び、お祭りごっこ、ハロウィン、クリスマス会、節分等) ○年2回程度の保護者向け茶話会や親子活動(なつぼぼ)、先輩保護者との語り合いの場作り | | |